

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

豊かな地域資源を活かした持続可能なまちづくり

2 地域再生計画の作成主体の名称

仙北市

3 地域再生計画の区域

仙北市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

仙北市は、秋田県の東の玄関口に位置する県内屈指の観光地であるが、日々の暮らしや社会（雇用）、交流人口により支えられている「温泉・文化・自然」の各種資源の維持が、人口減少により困難となっている。

仙北市の人口は 27,842 人（H28. 4. 1）で今後も減少傾向にあり、高齢化率も 38%と高く、その他健康・医療・福祉・産業関係の統計数値も厳しい数値となっており、観光・文化等の世代継承も困難となっている。

4-2 地方創生として目指す将来像

当該地域の資源である「温泉・文化・自然」と健康による効果を生み出すことで、ヘルスケアに関する新たな産業の創出、健康寿命の延伸、交流人口の増加を図り、持続可能なまちづくり及び観光地の確立を目指すものである。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
温泉利用者数（人）	1,036,000	40,000	20,000	30,000

観光宿泊者数（人）	530,000	10,000	40,000	45,000
疲労ストレス測定機器を設置する施設の温泉利用者数（人）	212,000	20,000	10,000	11,000

	KPI増加分の累計
温泉利用者数（人）	90,000
観光宿泊者数（人）	95,000
疲労ストレス測定機器を設置する施設の温泉利用者数（人）	41,000

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

（仮称）仙北市次世代ヘルスケア産業推進協議会を有識者等で設立し、ヘルスケア関連事業の創出に向けた各種調査やマッチング支援、ヘルスケアプログラムの開発・プロモーションに取り組む。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

仙北市

② 事業の名称：豊かな地域資源を活かした「温泉×健康」による持続可能なまちづくり

③ 事業の内容

（仮称）仙北市次世代ヘルスケア産業推進協議会を、観光・健康・医療・介護・文化芸術・ICT企業・行政・大学・金融機関等により設立し、ヘルスケア関連事業の創出に向けた各種調査やヘルスケア資源の整理発掘、ヘルスケア産業に係るマッチング支援、ヘルスケアプログラムの開発・プロモーションに取り組む。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

開発及び発掘されたヘルスケアプログラムは各施設が実施し、ツアーは市内の旅行業者が企画販売する。新たにヘルスケア産業として起業及び事業拡張した事業体は、自己経費での自立を図る。協議会は諮問機関として自治体財源での運営を維持する。

【官民協働】

協議会にヘルスケアの知見を有する病院及び大学を巻き込み、更には金融機関も参画することで、個別事業の自立に向けた動きを加速することができる。

【政策間連携】

協議会運営及びヘルスケアに関連したプログラム（温泉入浴や食、散策、農業体験など）を福祉（医療）、観光、教育、産業にわたる分野で開発実施する。

【地域間連携】

協議会で開発したヘルスケアプログラを経済圏内である近隣市町に効率的に発信することにより、ヘルスケアに関心をもつ民間企業及び個人の巻き込みにつなげていく。

【その他の先導性】

特になし

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
温泉利用者数(人)	1,036,000	40,000	20,000	30,000
観光宿泊者数(人)	530,000	10,000	40,000	45,000

疲労ストレス測定機器を設置する施設の温泉利用者数（人）	212,000	20,000	10,000	11,000
-----------------------------	---------	--------	--------	--------

	KPI増加分の累計
温泉利用者数（人）	90,000
観光宿泊者数（人）	95,000
疲労ストレス測定機器を設置する施設の温泉利用者数（人）	41,000

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

条例で設置している「仙北市総合政策審議会」において、事業実績を基にその効果について検証を行い、総合戦略に反映する。

【外部組織の参画者】

市内団体等（観光連盟、商工会、農業協同組合、森林組合）、秋田大学、市民及び議会の関与を得ながら検証結果をまとめる。

【検証結果の公表の方法】

検証結果は毎年度、仙北市ホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 40,940千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 温泉浴マイスター人材育成事業

事業概要：健康的な温泉の入浴方法、様々な症状に効果がある泉質など、医師や薬剤師から指導を受け、「温泉の専門家」として育成するプログラムを実施するもの。

実施主体：秋田県仙北市

事業期間：平成29年度～平成31年度

(2) 介護予防推進事業

事業概要：市施設である温泉プールを使用して、健康運動士や温泉利用指導者等の指導で水中運動を実施し、高齢者の健康増進及び介護予防の推進を図るもの。

事業主体：秋田県仙北市

事業期間：平成29年度～平成31年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

条例で設置している「仙北市総合政策審議会」において、事業実績を基にその効果について検証を行い、総合戦略に反映する。

【外部組織の参画者】

市内団体等（観光連盟、商工会、農業協同組合、森林組合）、秋田大学、市民及び議会の関与を得ながら検証結果をまとめる。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
温泉利用者数 (人)	1,036,000	40,000	20,000	30,000
観光宿泊者数 (人)	530,000	10,000	40,000	45,000
疲労ストレス測定機 器を設置する施設の 温泉利用者数 (人)	212,000	20,000	10,000	11,000

	KPI増加分の累 計
温泉利用者数 (人)	90,000
観光宿泊者数 (人)	95,000
疲労ストレス測定機 器を設置する施設の 温泉利用者数 (人)	41,000

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

検証結果は毎年度、仙北市ホームページで公表する。